

令和3年度 聖母保育園における自己点検・自己評価

保育所保育指針では、「保育所は、保育の質の向上を図るため保育の計画の展開や保育士などの自己評価の結果を踏まえ保育の内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない。」ことが明記されています。保育所では、保育士や保育所の自己評価を踏まえ保育の内容など、専門性の向上や保育実践の改善に努めています。

〔評価基準〕 A:大変良い B:良い C:一部検討を要する D:検討・改善を要する

I 保育の理念		
子どもの最善の考慮		
① 子どもの人権の尊重 ② 保育方針・保育目標		
評価項目	評価	評価と課題
理念や基本方針が明文化され、職員に周知されている。	A	・年度初めの説明、プリント配布、玄関掲示などで目指す子ども像を周知している。
理念や基本方針が保護者、ひろば、関係機関などに周知されている。	A	・パンフレット、4月の園だより、ホームページ、地域の子育て情報欄に掲載し周知している。
一人一人の子どもを尊重した保育について共通の理解を持つための取り組みを行っている。	B	・カリックの教えのもと一人一人を大切に保育を行うよう神父から講話の機会を設けている。・子どもについて話し合い共通理解をもって保育するように心がけている。
II 子どもの発達援助		
1子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場		
①健康・安全で心地よい生活 ②子どもの主体的な生活 ③人とのかかわりを育む環境		
評価項目	評価	評価と課題
子どもの健康管理は、子ども一人一人の健康状態に応じて実施している。	A	・保護者からの情報提供を職員間で把握し、健康観察を行いながら変化があった場合は保護者に伝えている。
健康診断・歯科検診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	A	・受診が必要な場合は保護者に伝達している。歯検診結果については園だよりに掲載し予防に努めてもらうよう保護者に向けて啓発を行っている。個々の状態に合わせた保育をしている。
乳幼児にふさわしい食事を提供し、見直しや改善をしている。	A	・離乳食については保護者、担任、調理員と話し合い進めている。給食会議、検査簿で月ごとの目標を確認し喫食状況を話し合い見直しや改善につなげるようにしている。
2 生活と発達の連続性		
①子どもの理解と共有 ②発達過程に応じた保育 ③個人差への配慮 ④生活の連続性		
一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助を行っている。	B	・個々の成長に合わせて援助を変えたり気持ちを受け止めることを大切にしたりすることを心掛けて保育を行っている。
長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法を配慮している。	C	・利用者の低年齢化と増加により利用保育室の増加やクラス分けなど検討事項がある。・延長保育保育者や保護者に担任からの伝達事項が漏れないようにメモをとり伝えている。
保育方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、家庭や地域の実態に即した全体的な計画を編成している。	A	・理念や保育方針に基づき発達過程を踏まえ、全体的な計画を編成している。
指導計画を適切に作成し、定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	B	・全体的な計画に基づき指導計画を作成しているが、定期的に評価、見直しの時間が取れないこともあった。
子どもに関する記録の管理体制が確立している。	A	・経過記録、未満児用の引継ぎ資料を作成し適切に管理している。
一人一人の子どもに関する情報を職員間で共有している。	B	・クラス内では情報共有できているが短時間保育利用児童は他クラス担任との関わりが少ないため細かい部分まで共有は難しい。
各年齢の保育において養護と教育の一体的な展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。	B	・肯定感を持つような言葉かけや自信をもって生活できるような個別の関わりを大切にしたり保育をしている。
3 環境		
①保育の環境(人的環境・物的環境・自然や社会事象など)		
子どもが心地よく過ごすことができるような環境が整備されている。	A	・玩具の消毒、室内換気、温度、湿度など子どもが心地良く過ごせるような環境に配慮している。・感染症などの流行期には特に衛生面にきをつ
子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができる環境が整備されている。	B	・発達段階や家庭での関わり方を踏まえて丁寧な援助をし基本的な生活習慣を身につけて十分に身体を使って活動できる環境を整備するようにしている。
子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの共同的な体験ができる環境が整備されている。	A	・好きな遊びを自発的に行える環境を整えている。・ままごとコーナーの設定や遊びに使うものを制作する材料を整え主体的に活動できるよう工夫している。
子どもが主体的に身近な自然や社会と関わりあえるような環境が整備されている。	B	・自然物を使った遊びや制作、花や野菜の栽培活動、散歩などを通して社会事象や自然に関心が持てるように工夫している。
子どもが言語環境や表現活動が自由に体験できる環境が整備されている。	B	・絵本や紙芝居などの読み聞かせを多く取り入れ発語を促したり表現活動につなげることができた。

Ⅲ 保護者に対する支援		
1 家庭との緊密な連携		
①子供の成長の喜びを共有 ②保育内容の説明・応答責任 ③子育てに関する相談・援助 ④保護者への個別支援		
評価項目	評価	評価と課題
不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に対応できる体制を整えている。	A	虐待予防の観点から、保育士が子どものサインに気づき、その対応方法の研修を受けて学び、すこやか支援室とも連携している。
2 地域における子育て支援		
①保育所機能の解放 ②関係機関との連携 ③情報提供		
子どもと地域との交流を広げるため、地域との関わりを大切にし具体的な子育てニーズを把握する取組みを行っている。	C	子育てひろばではコロナ禍のため利用人数制限を設けたり、地域の高齢者との交流会の中止したりするなど思うような取組みができなかった。
ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	ボランティアを受け入れるにあたり守秘義務、子どもへの関わり方などを説明してから受け入れている。
関係機関等との連携が適切に行われている。	B	保育課、保健師、発達支援センター等と子どもや保護者の情報を共有し連携している。
保育所を選択するために必要な情報を積極的に提供し分かりやすく説明している。	B	ホームページを更新しブログで園の情報を提供しようとしたがクラスによって提供に偏りがあった。
Ⅳ 保育を支える組織的基盤		
1 健康及び安全の実施体制		
① 保育の計画 ②保育士等の自己評価 ③保育所の自己評価 ④研修		
緊急時(事故・感染症の発症時など)における子どもの安全確保のため、組織として体制を整備されている。	B	緊急時対応の役割分担を決め安全確保のため体制を整備している。
地震、津波、大雪などの災害時における子どもの安全確保のためのマニュアルがある。	A	マニュアルを整備している。定期的に訓練を実施し保育者、園児の安全行動に対する意識づけを行っている。
子どもの安全確保のために要因分析や対応策を検討している。	B	事故報告書やヒヤリハットを基に報告、研修を行い対応策などを確認している。
アレルギー疾患、慢性疾患等を持つ子どもに対して主治医からの指示を受け適切な対応を行っている。	A	半年に1回指示書の提出を依頼している。指示書を元に保護者、栄養士、園長、担任を含め確認して除去食提供を行うとともに配膳時の誤配、誤食がないように複数で確認している。
2 職員の資質向上		
保育士などが主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	B	自己評価を行うことで保育の進め方を反省し改善を図っている。
自己評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策や改善実施計画を立て実施している。	B	自己評価の結果に基づき意見交換をし課題を共有して改善するようにしている。
職員の就労状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	個々の意向に合わせて就労を決定している。園の勤務形態を考慮して変更を求めることもあった。
職員の教育・研修計画が策定され、計画に基づいての取り組みが行われている。	B	園内外の研修会の研修計画を策定し計画にも続いて取り組んだ。
研修受講者が復命書を提出し、他の職員に報告を行い情報を共有できる体制が出来ている。	B	研修受講者が復命書を提出し、回覧で報告したり職員会議などで報告したりした。
実習生の受け入れと育成について体制を整備し、積極的な取り組みを行っている。	D	コロナウィルス感染症の影響で実習生の依頼はなかった。
3 運営・管理、社会的責任		
① 法令の遵守 ② 個人情報の取り扱いと苦情解決の責任 ③ 施設長の責務		
事業計画の策定が組織的に行われ職員や保護者に周知されている。	A	職員会議で前年度の反省を行い事業計画を策定している。ホームページのカレンダー機能を使い職員や保護者に周知している。
保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	A	保護者から悩みや苦情を聞いたときは速やかに職員間で協議し、保護者と話し合う機会を設けている。直接保護者と話し合うことで保育園に対して理解してもらえようとしている。
子ども・保護者のプライバシー保護に関する規定・マニュアルを整備している。	A	個人情報に関する誓約書(個人情報保護の誓約、機密事項の帰属、法令遵守、関係資料の返却破壊)を整備し同意書を提出してもらっている。
苦情解決の仕組みが確立され保護者などに周知する取り組みが行われ機能している。	A	入園説明会、4月の園だよりで苦情解決制度について周知している。保護者等の要望や意見があった場合迅速に対応している。
順守すべき法令などは正しく理解するための取り組みを行っている。	A	コンプライアンス研修を通して個々の意識を高める取り組みをしているほか服務規程について確認している。
施設長は経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	B	経営状況を考慮しながら業務の効率化と改善に向けて努力している。
施設長は自らの役割と責任を明らかにし、理解されるよう取り組んでいる。	B	職員会議等で役割や責任について話し職員から理解されている。
事業経営を取り巻く環境を的確に把握するための取り組みを行っている。	B	事業経営を取り巻く環境は変化しているため的確に把握するように努めている。
保護者からの意見に対して、迅速に対応している。	A	施設長に直接の意見や他職員からの報告に対しても迅速に対応するように心がけている。